

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和8年第38週 (9月14日～9月20日)



インフルエンザについて

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は26人となり、先週と比較して増加しました。インフルエンザA型が92%、型不明が8%でした。大分県全体でも定点あたり5.93人と、先週の3.78人と比較して増加しました。

感染の拡大を防ぐためには、手洗い、咳エチケット、換気などの基本的な感染対策に加え、十分な休養、バランスのとれた食事、適度な湿度の保持も有効です。また、インフルエンザの予防接種は、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、重症化を防ぐ効果が報告されています。接種を希望される方は、医療機関にご相談ください。

9月24～30日は結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間です

厚生労働省では、毎年9月24～30日までを「結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間」として、普及啓発を行っています。

すでに流行期入りした「インフルエンザ」も急性呼吸器感染症の1つです。急性呼吸器感染症を拡大させないようにするには、咳エチケットや必要時のマスクの着用、手洗い、換気等の基本的な感染対策が重要です。

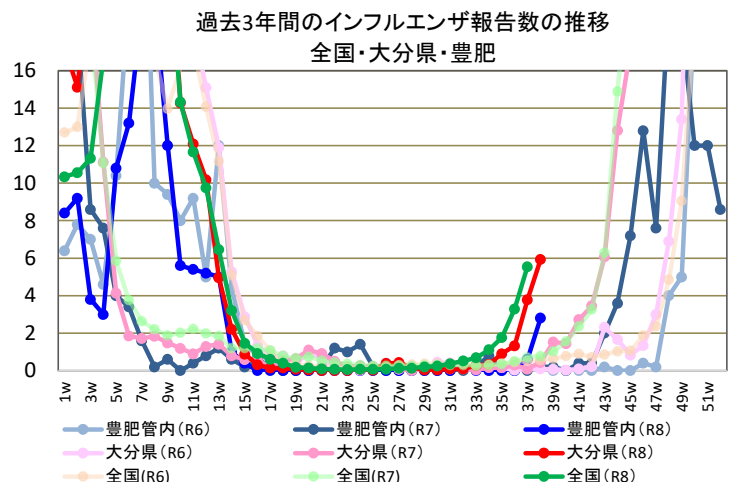
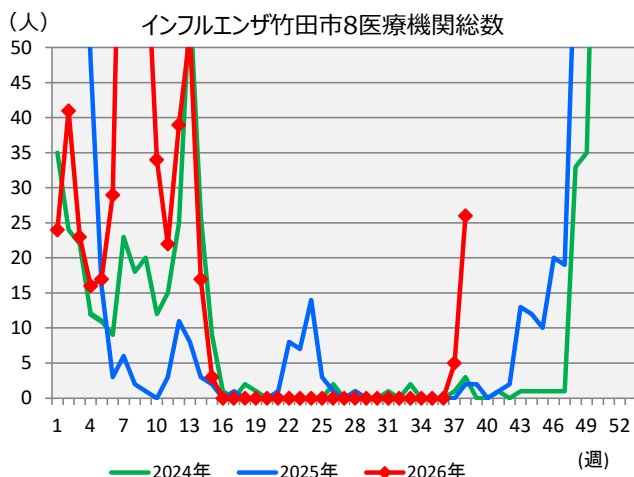
また、結核は昔の病気と思われるがちですが、今でも全国で年間1万人程度の人が新たに結核と診断されています。2週間以上続く咳や痰、発熱、急激な体重の減少などがみられる時は、早めに病院を受診しましょう。



(第38週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳	1																		
1～3歳	2																		
4～6歳	2																		
7～9歳	4																		
10～14歳	8																		
15～19歳	3																		
20歳以上	4		2					2											
今週	24		2					2											
	26																		
70歳以上(再掲)																			
先週	5			4				1											



1年間で
(2025年)

新規登録者数

9,899人

死亡者数(概数)

1,474人

新登録結核患者は高齢者に多く、およそ6割が60歳以上となっています。



結核

あります

令和の日本にも

早期受診、
早期診断
で正しい治療を!



せき・たんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

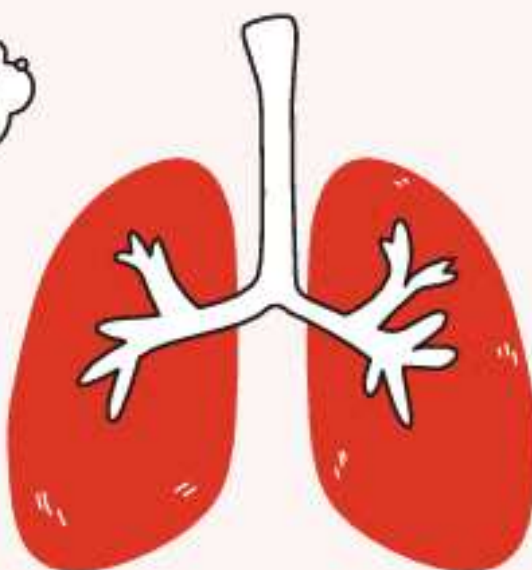


多種にわたる疾患があり

基本的な感染対策

が有効

呼吸器感染症には、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、細菌性肺炎などがあり、手洗い、換気、咳エチケットなどの基本的な感染対策・予防が有効です。



呼吸器 感染症

のコト

正しく知ろう

さまざまな
症状がみられる

非結核性

抗酸菌症

非結核性抗酸菌症では、長引くせきやたん、発熱、倦怠感、体重減少などのさまざまな症状がみられますが、結核とは異なり、通常は人から人へ感染しません。



という視点を

NTM症

長引く咳に



診断や治療に時間がかかることがあるため、症状が続く場合は早めに受診しましょう。

※NTM(nontuberculous mycobacteria)：非結核性抗酸菌



内閣府 感染症対策推進部 感染症対策課 文部科学省

厚生労働省 結核

検索

厚生労働省 急性呼吸器感染症

検索

厚生労働省 NTM症

検索

